

事業所名

はれる

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

R8 年

2 月

19 日

法人(事業所)理念		心と体を動かし、自分らしく生きる土台を作り、自ら歩み、社会を照らす存在へ。								
支援方針		1歩ずつのチャレンジが、おおきな自信につながる。								
営業時間		12 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 活動前後の体調確認により自分の体調の変化に気づき、適切なセルフケアや自分の状態を言語化する力を養う。(家族からの聞き取りも行う) 手洗い・うがい、汗を拭く、着替えるといった一連の動作を習慣化し、自ら身だしなみを整える自立心と自信を育む。 定期的な運動プログラムを行い、「しっかり動いてしっかり休む」のリズムを作り、睡眠の質の向上や食事をおいしく食べる意欲につなげる。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身体の大きさや動かし方を把握するための感覚統合遊びを行い、身の回りの動作をスムーズにできるようサポートする。 姿勢保持に必要な運動を行い、日常生活の基盤となる姿勢の安定を目指す。 一人一人の習熟度に合わせて課題を設定し、小さな目標を自力でクリアすることで大きな達成感と「次もできる」という自信を育む。 リズムに合わせて体を動かす楽しさを知り、集団の中でも自分を表現し周囲と歩調を合わせる自信につなげる。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で自然とルールを守る楽しさを知り、日常生活での「決まりごと」をスムーズに受け入れる心の準備を整える。 「自分の番」を待つ練習を取り入れ、集団生活の中での我慢強さと、落ち着いて行動できる自信につなげる。 複数の情報を同時に処理する力を鍛え、学校生活などでの土台を作る。 運動と休息のしっかりとした切り替えを行い興奮しすぎた時にクールダウンする方法を身に付け、感情を上手にコントロールできる安心感をもたせる。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 運動の後に一言発表する時間を作り自分の頑張りを認めてもらい、友達の良さにも気づくことで人前で話す自信と相手を思いやる言語を学ぶ。 多様なコミュニケーション手段を活用しながら意思の伝達ができるようサポートする。 会話や遊びを通して信頼関係を築き、気持ちを伝える、受け取る、理解するための能力を習得できるよう支援する。 身体的な「力加減」のコントロールを、言葉の「強弱」や「言い方」のコントロールに繋げ、円滑な対人関係を築く基礎を作る。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 相手の状況に合わせて自分の行動を調整する運動を遊びを取り入れ、相手の立場に立って考える思いやりや公共の場や集団生活でのマナーを習得できるよう支援する。 準備、片付けを分担したり話し合っ決めて決める集団活動を行い、自分の役割りを果たす責任感と協力して成し遂げる充実感を味わい社会参加の基礎を身につける。 家庭や学校ではない場所での居場所となり、安心して他者(支援員や友達)と関わり信頼関係を気付けるよう支援を行う。 自分から相談解決する練習を行い、困った時に適切に助けを求める力を養い周囲と共生していく自信につなげる。 								
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> できたことやチャレンジできたことを共有し合いお子様の成長と一緒に実感し、前向きな親子関係を支えます。 自宅でもできる簡単な運動や姿勢を保つためのコツなどの情報を提供し、一緒にできそうと思える具体的な家庭での療育をサポートします。 					移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所への情報提供や進学相談など移行支援の必要に応じた対応を行います。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、個人情報の配慮の中で学校、地域取っしていけるよう体制を整えていきます。 					職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の事業所内での研修を実施。会議、勉強会を行い知識や技術向上に努めます。 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 食育の観点から畑体験など季節や時期に応じて活動や運動を行います。 									